



もいまち

平成27年(2015年)5月

第63号

議会だより



写真／「1300年、受け継ぐ文化」～天宮神社 十二段舞楽～

《主な内容》

防災・減災と子育て支援 他

2

一般質問

入居者の生命・財産を守れるのか 他

7～11

発行 静岡県森町議会

防災・減災と 子育て支援

森町議会は、3月定例会を2日から23日までの会期22日間で開催しました。27年度予算をはじめ、条例や補正予算など、提案された37議案を審議しました。

また、町営住宅団地の対応、教育環境整備と学校統合、教育委員会改革、地方創生と人材育成、地域包括ケアシステムの構築、トイレの洋式化、ふるさと納税制度、公金インターネット決済、第8次森町総合計画、中山間地域の道路状況などについて、9人が一般質問をしました。(7P～11Pに掲載)

平成27年度当初予算

一般会計は、昨年から10.1%増加し、74億1500万円となりました。

歳出では、消防費(行政無線デジタル化、拠点防災倉庫整備など)が5億9478万5千円(136.0%)、教育費(総合体育館備品など)が1億744万3千円(14.8%)の増となります。歳入では、町税(町民税、固定資産税など)が1億2383万円(5.0%)の減となります。

◎防災・減災

行政無線のデジタル化

自然災害や火災の際に利用する、無線の更新費用等(3億7837万9千円)

拠点防災倉庫の建設

大規模災害時、応急対策の拠点となる倉庫の設置費用等(2億1527万1千円)

木造住宅の耐震化を促進

昭和56年5月以前に建築した木造住宅の耐震化に関する補助金を増額(771万4千円)

①木造住宅耐震補強計画の作成

一般世帯の補助金を、高齢者世帯と同額まで増額(最大14万4千円)

②木造住宅耐震補強工事

一般世帯は最大90万円に、高齢者等世帯は最大110万円に増額(県内トップの補助額)

〈当初予算における主な歳入・歳出項目の推移〉

(万円未満四捨五入)

歳入項目	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
町 税	23億5,726万円	24億8,109万円	24億4,157万円	24億 756万円	23億6,378万円
地 方 交 付 税	13億3,000万円	13億3,000万円	13億2,000万円	13億5,000万円	13億4,000万円
国 庫 支 出 金	5億3,838万円	5億2,700万円	5億6,886万円	5億5,652万円	5億4,297万円
県 支 出 金	4億1,549万円	3億8,884万円	4億5,903万円	4億5,449万円	5億5,172万円
繰 入 金	5億 799万円	3億8,834万円	2億1,187万円	9,787万円	1億4,436万円
町 債(借入金)	12億1,040万円	7億1,110万円	7億8,350万円	6億9,730万円	6億1,420万円

歳出項目	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
民 生 費	19億3,845万円	19億2,749万円	18億 502万円	17億3,646万円	19億1,136万円
衛 生 費	10億3,654万円	10億1,717万円	10億2,847万円	10億3,061万円	10億9,104万円
消 防 費	10億3,219万円	4億3,741万円	3億9,220万円	3億6,467万円	4億3,255万円
総 務 費	8億5,985万円	9億1,780万円	7億9,645万円	7億2,473万円	6億9,388万円
教 育 費	8億3,313万円	7億2,569万円	7億4,394万円	7億6,023万円	7億4,502万円
土 木 費	6億8,060万円	6億4,454万円	8億3,561万円	7億1,335万円	5億2,515万円
農 林 水 産 業 費	2億 796万円	2億4,024万円	2億5,021万円	2億 690万円	1億5,305万円

◎子育て支援

保健福祉センターに保育所開設

3歳未満児の入所に対応した、小規模保育施設の整備費等
(1740万1千円)

幼稚園の預かり保育

森幼稚園及び園田幼稚園で、新たに預かり保育を実施 (420万5千円)

放課後児童クラブ等の拡充

小学校の放課後児童クラブを全学年対象とし、「放課後子ども教室」を、新たに天方小学校でも実施
(557万円)



森小学校放課後児童クラブ お誕生会

討論

一般会計予算

【反対討論】

特殊車両の購入、乳幼児保育事業の遅れ、60周年記念事業費の枠付けについて異論がある。
(西田議員)

【賛成討論】

防災・減災、子ども・子育て支援を重点に、森町の将来に向けて調和のとれた予算である。
(中根議員)

重点事業である防災・減災対策の取組、子育て環境整備の充実は、効果が大きい期待できる有効的な予算である。
(伊藤議員)

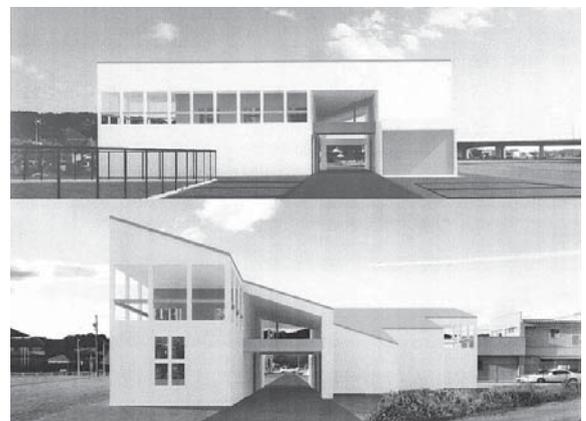
水道事業会計予算

【反対討論】

命をなくくむ水に消費税はかけるべきではない。受水5市1町として給水見直し等を粘り強く働きかけることを望む。
(西田議員)

【賛成討論】

上水道基本計画の更新による効率的な事業運営、安心・安全な水の供給、災害に強い水道事業に期待する。
(山本議員)



拠点防災倉庫イメージ(上:正面 下:裏側)

条例

森町消防団条例

【一部改正】

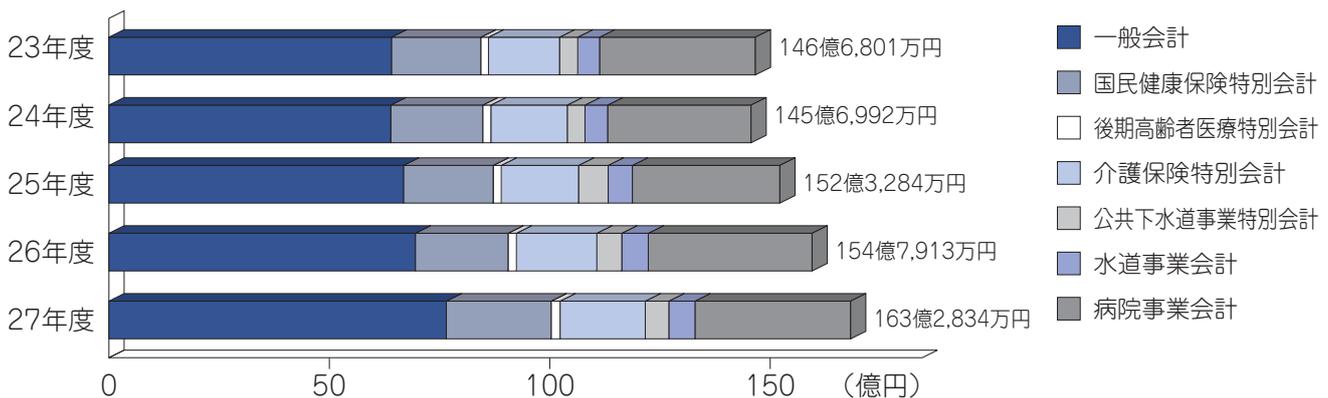
地域の防災力として、消防団員の活動環境の整備、士気の維持、向上を図るため、団員報酬の引き上げを承認しました。

人事

人権擁護委員

6月30日に任期満了となる市橋明典氏の後任として、佐藤多洋氏の推薦に同意しました。

<会計別予算の推移>



第一常任委員会

天方小 放課後 子ども教室始まる

Q 天方小学校で始まる放課後子ども教室は、長期休暇中は実施しないが、その理由は何か。

A 放課後児童クラブと違い、保護者が勤めている等条件はない。同じ中学校区の三倉小学校との整合を図るため、長期休暇は実施しない。

Q 森町職員定数条例の一部改正について、今の病院職員の定数189人は、病院規模に対して適正か。

A 専門職である医師、看護師、薬剤師の確保には苦労している。職場環境改善の観点から余裕ある定数としたいが、人件費等の経費を考えると最低限の職員数を確保したい。



天方小学校 放課後子ども教室の視察

第一・第二常任委員会は、3月10日、11日、12日の3日間にわたり、平成27年度予算などの議案について、審査を行いました。審査の主な内容を報告します。

Q 病院会計が収支不均衡予算となりざるを得ない理由は何か。

A 現在の131床という規模では、医業収益が費用を上回ることは難しい。仮に200床に増やしても、そこまでの患者数は確保できない。

Q 小学校のトイレを洋式化する予算があるか。

A 時代の変化で洋式化の要望がある。全校では洋式化は約30%であり、今回は飯田小の教員用、森小北校舎、三倉小3階のそれぞれを洋式化する。

Q 第9次森町総合計画に新たな事業計画は考えているか。

A 第8次の検証をし、引き継ぐものもある。新たな観点として、人口減少問題、内陸フロンティアを活かしたまちづくりなど、地方創生をキーワードとした視点が考えられる。

Q 高齢者に対する取組として、住まい、医療、介護、生活支援が一体となった地域包括支援センターが考えられるが、今の人数で足りるのか。

A 保健福祉センターには包括があり、病院には訪問看護ステーションがあり、医療も入らないと高齢者対応はうまくいかない。

ケアマネージャーに委託の部分もあるが、今後町で包括を実施していくには職員の定員管理の問題もあり、状況を見ていく。

Q 地域少子化対策強化交付金事業等について、具体的内容は。

A 子育てママ家庭訪問事業の賃金が主なもので、若年での望まない妊娠や、妊産婦の体調不良、相談相手がいないことなど、支援が必要な家庭を訪問し、妊娠、出産、産後の精神的な支えをする事業である。また、子育て支援モバイルサービスはスマホ等で予防接種、検診等の予定を知らせる事業である。

第二常任委員会

Q 城下町宮住宅撤去工事は高額ではないか。

A 業者が住宅の内部まで見て見積りを出している。構造、使用している部材によって金額が上がっていると理解している。他の棟の退去を待ってまとめて撤去した方が安くできるとは思うが、地域の人からは景観上なんとかしてほしいという要望があるので、多少経費が高くても撤去できるものから撤去し、地元に配慮して環境を整備するので理解してほしい。



撤去予定の城下町宮住宅の視察

「遠州の小京都」 森町をPR 「急須でお茶を飲む町」

Q 遠州の小京都案内看板の設置場所は。

A 古い町並みが残っていることと昔の秋葉街道であることから、本町、仲横町、新町、天宮、城下の5箇所を計画している。看板の内容、具体的な設置場所については、教育委員会と今後協議していく。

Q 公共下水道の受益者負担金20万円は近隣市に比べ高いという声があるが。

A 条例により制定している。県下では市は敷地面積による賦課、町は単一定価が主である。

森町は単一定価(1箇所20万円)だが、県下の町と比較して突出して高い訳ではない。人口密度が高い中で整備する市に比べ、町は1軒の敷地が広く人口密度が低いので、単一定価が平等な賦課と考える。

また、1世帯から出される汚水の量は、敷地の広さによって変わらないことなどから単一定価を採用している。

Q 商工振興費消費品費106万円の内容は。

A 27年4月1日から婚姻届を提出し、森町に住む予定の人に、地元窯元の急須をプレゼントし、「急須でお茶を飲む町」を推進する。過去3年間の平均から、70個分を予算計上している。

Q 特定健康診査の対象者は。

A 国保の被保険者のうち40歳から74歳までの人で、施設に入所していたり病院に入院している人は対象外である。

対象者約4000人のうち、2000人の受診を見込んで予算を計上している。

Q たばこ税の税率は。

A 1000本当たりで国税が6122円、県税が860円、町税が5262円であり、1本あたりの町税は5.262円である。



天方宿泊施設「コテージアクティ」

公の施設の指定管理者の指定
 森町吉川キャンプ場、森町天方宿泊施設、森・園田・三倉デイサービスセンターの指定管理者を指定しました。

一般議案

森町企業立地推進基金への積立金として1億円、森町病院の経営基盤強化のための繰り出しとして1億3000万円

一般会計

追加 2億3376万1千円
 総額 76億3341万4千円

補正予算

3月定例会の審議結果

議案名		結果	備考	議案名		結果	備考	
人事	人権擁護委員候補者の推薦	推薦	全員賛成	補正予算	平成26年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	
	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成26年度森町介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決	全員賛成	
条例	森町表彰条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	一般議案	平成26年度森町病院事業会計補正予算(第5号)	原案可決	全員賛成	
	森町行政手続条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定(森町吉川キャンプ場)	原案可決	全員賛成	
	森町消防団条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定(森町天方宿泊施設)	原案可決	全員賛成	
	森町企業立地推進基金条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定(森町三倉デイサービスセンター)	原案可決	全員賛成	
	森町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員		公の施設の指定管理者の指定(森町森デイサービスセンター)	原案可決	全員賛成	
	森町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		公の施設の指定管理者の指定(森町園田デイサービスセンター)	原案可決	全員賛成	
	森町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		森町道路線の廃止	原案可決	全員賛成	
	森町介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		森町道路線の認定	原案可決	全員賛成	
	森町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例	原案可決	全員賛成		当初予算	平成27年度森町一般会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例	原案可決	全員賛成			平成27年度森町国民健康保険特別会計予算	原案可決	全員賛成
	森町保育の必要性の認定に関する条例	原案可決	全員賛成			平成27年度森町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全員賛成
	森町職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成			平成27年度森町介護保険特別会計予算	原案可決	反対 西田議員
	森町訪問看護ステーションの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成			平成27年度森町公共下水道事業特別会計予算	原案可決	全員賛成
平成26年度森町一般会計補正予算(第10号)	原案可決	全員賛成	平成27年度森町大久保簡易水道事業特別会計予算	原案可決		全員賛成		
平成26年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	平成27年度森町三倉簡易水道事業特別会計予算	原案可決		全員賛成		
			平成27年度森町大河内簡易水道事業特別会計予算	原案可決		全員賛成		
			平成27年度森町水道事業会計予算	原案可決		反対 西田議員		
			平成27年度森町病院事業会計予算	原案可決		全員賛成		

地域に活力を 地方創生に向けて

2月臨時会

2月臨時会を2月24日に開催し、一般会計補正予算について審議しました。全員の賛成で、原案どおり可決しました。

一般議案

人口減少の克服、地方創生を目的とした「まち・ひと・しごと創生法」関連事業の予算について審議しました。主な内容をお知らせします。

一般会計 追加 6321万4千円
総額 73億9965万3千円

一般会計補正予算(第9号)

「地方人口ビジョン」と、「地方版総合戦略」の策定に1000万円

2割のプレミアム付商品券(総額1億2250万円)発行事業を行う商工会への補助金に2760万円

予防接種時期の情報等を随時提供するモバイルシステムの導入に210万円

3歳未満児の居所に対応した小規模保育の開設を図る経費に129万6千円

町政を問う ～一般質問～



伊藤 和子

入居者の生命・財産を 守れるのか

問 城下町営住宅は老朽化が著しく、入居者の生命・財産は守れるのか。防災・防犯、衛生、景観上の観点からも早急な対策が課題であり、入居者に安全な住宅を確保し、住宅団地を撤去する必要があると思う。

町長 城下団地については、現在作成中の森町町営住宅長寿化計画において、用途廃止とすべき団地として位置づけていく。



老朽化が著しい城下町営住宅

城下町営住宅については、撤去することによって城下の景観が確保できるので、入居者に他の町営住宅に移っていただくことが必要だと思っている。

高齢者シェアハウスの取組を

問 撤去後の跡地の有効活用として、高齢者の*シェアハウスの取組を提案するが、町長の考えを伺う。

町長 城下団地は場所が良いので、更地になれば、提案も可能かと思う。

※高齢者のシェアハウス

高齢者向けの自立共同住宅のこと
老後に不安を抱える高齢者が居場所や生きがいを見つけ、楽しく生活を送ることができる、今後の老後生活の新しい形として注目されている。



天方小学校 入学式

教育長 早い段階での検討会は考えていないが、手引書でもたびたび触れられている、行政の主體的検討を具現化する意味でも、保護者同士が話し合う会を学校側に要請したい。

問 文部科学省は公立小・中学校の新たな「統廃合手引」を本年1月に公表した。

森町の教育環境整備等の研究のため、速やかに検討会を立ち上げるべきと考えるが、教育長の考えを伺う。



吉 筋 恵 治

子ども達の教育は大丈夫か

その内容を把握した上で、教育委員会が今後の方向性を検討したい。

問 学校環境は三倉小・天方小・泉陽中のクラブ活動等、大きく欠けていると感じる。

教育環境について検討会もなく放置されていることについて、どのように考えているか伺う。

教育長 保護者、職員が教育活動とともに協力していただいているところを評価しており、放置ではなく、その成果も認め現実があることをご理解願いたい。

問 教育委員会の独自性や理念に基づく教育行政に危惧を持っているが、教育長の考えはどうか。

教育長 森町の実態を捉えた教育が継承されてきている。規模適正化についての認識は理解をしている。

現実を大事にし、森町の教育のありべき姿について検討模索をしていく。

町政を問う ～一般質問～



太 田 康 雄

教育委員会改革への

対応は

問 改正地方教育行政法の具体的な変更点は、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」、「総合教育会議」の新設、「大綱」の策定である。森町の対応は。

町長 「新教育長」は、現教育長の任期満了までは現行制度のままでありとされており、引き続き現行体制としたい。

「総合教育会議」は、首長と教育委員が協議、意見交換する場であり、学識経験者等の意見聴取ができる。27年度は7月中旬までに開催し、必要に応じて2回程度開催したい。

「大綱」は、町の教育の基本方針である「森の教育」を参酌する。教育委員会と協議しながら策定し、総合教育会議で調整していきたい。

遠州の小京都の進捗状況は

町長 遠州の小京都まちづくり推進会議で協議・検討した基本構想が、近々提案される。今後は、具体的な基本計画を検討いただく予定である。

問 新たな総合計画、創生総合戦略にまちづくりの思想、精神として、遠州の小京都を取り入れるべきと思うが。

町長 全国京都会議に参画した理由は、単なるPRではない。由緒ある歴史をよりどころとして町民が生活し、まちづくりを進めていく、だからこそ遠州の小京都が大切だと考えたからである。

したがって、基本構想をしっかり作り、皆さんが見て、森町はこういう町で進んでいけばいいと思っていたらきたい。それは、総合計画、創生総合戦略にも通ずるものであると考える。



遠州の小京都作品展
小國神社研修室



中根 幸男

地方創生に伴う総合戦略は

問 地方創生に伴う「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、どのような点を主眼に置いて策定を進めるか伺う。

町長 森町の人口減少に歯止めをかけ、増加に転じていくような、地域雇用の創出を促進する事業、子育てしやすい環境づくりといった点に主眼を置き、地域の実情に合った独自性のある総合戦略の策定を進めていきたい。

人材育成と人事評価の

「ねらい」は

問 職員の人材育成について、平成27年度の研修計画はどのようなになっているか。

また、人事評価制度導入の「ねらい」について伺う。

町長 県振興協会主催の新規採用職員、中堅職員、新任管理者、地方自治研修の他、市町が合同で行うコミニケーション能力向上、創造力・発想力強化及び戦略的発想力開発講座など、職員のスキルアップ向上のための研修に参加を予定している。

人事評価制度については、職員個々の能力と実績に基づく人事管理を徹底し、より高い能力を持った職員を育成することにより、組織全体の士気高揚、公務能力の向上を図るとともに、行政サービス向上の土台を作ることが「ねらい」となっている。



新東名インターを活用したまちづくり

町政を問う ～一般質問～



小沢 一男

地方版総合戦略の

具現化は

問 総合戦略の基本目標は、森町の安定した雇用の創出、人の流れの転換、若者の結婚・出産・子育てに対する希望の実現と考える。

時代にあった地域づくりの具現化について伺う。

町長 内陸のフロンティアを拓く取組の中で、企業誘致の推進や、地域雇用の創出を図るとともに、子育て支援施策の充実等、住みよいまちづくりを進める。

具体的取組は、平成27年度からアンケート調査を実施し、町の人口動向を分析し、具体化に向けた検討を行う。

問 現場の声を聴く、住民参加に軸足を置く地域力は、つながりの力、活力ある森町の未来開拓は、女性の力・青年の力・高齢者の力が必要と考えるが、組織作りの考えは。

町長 住民の声を聴くことは重要で、女性力・青年力・高齢者力は大事であると考ええる。

女性や若者、高齢者等現場を支える人たちの団体やグループ、地域づくり活動として協働のまちづくりの事業を実施している団体から、幅広く意見を伺う。

民間企業、有識者で構成する既存の委員会の活用も視野に入れ、審議を進める。

その他の質問

- ・ 公衆トイレ・学校トイレの洋式化
- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- 1. 森町にあったシステム作成の方向性
- 2. 認知症への理解・対策の仕組みづくり
- 3. 認知症初期支援チームの進捗
- 4. 在宅チーム医療の人材育成
- 5. 児童・生徒への認知症に対する学校教育
- 6. お達者度県下一の共有認識を持ったまちづくり



北海道森町との交流

町長 地方の活性化や都市部との格差を埋める一つの方策として導入されたものであり、ある程度評価できるものと認識している。

問 平成20年度に創設されたふるさと納税制度の感想と、利活用する方法を伺う。また、過去7年間の森町の実績と内容について伺う。



鈴木 拓治

ふるさと納税制度を問う

平成26年度から感謝の意を表すために、町外在住の5万円以上の寄附者を対象に、森の特産品等を贈呈する

沖縄県に友好都市を

問 昭和43年、北海道森町との間に友好に関する協定書を締結し、各分野での交流を増大させている。友好市町村がもう1箇所あってもよいと思うが、地理的に反対側の沖縄県の市町村ではどうか。

町長 友好都市は、歴史的・文化的なつながりや住民交流など、互いの共通点やメリットを踏まえて締結されるケースが多いと思われる。

沖縄県の市町村とは現在特別な交流がなく、現段階においては難しいと思われるが、適切な候補地があれば、沖縄県に限定せず検討して参りたい。

町政を問う ～一般質問～



亀澤 進

インターネット決済導入を

問 インターネット決済を利用して公金収納サービスを実施している自治体は100を超え、各種公金をインターネットで決済できるようにしている。

支払う側は、場所や時間が固定されず、一括払いや分割払い等、自己財布の状況に合わせて支払いができる。

受取側は、請求した額が締日に確実に入ってくるため収納率が向上し、督促や集金等の経費が削減される。

歳入確保と住民の利便性やふるさと納税の向上を目指して、導入を進めてはどうか。

町長 公金のインターネット決済の代表例として「Yahoo! 公金支払い」がある。インターネットにつながる環境、税金等の納付書、クレジットカードの三つがあれば、24時間いつでも納付することができる。

事例としては、47都道府県の内、静岡県を含む17団体が自動車税に、全国1718市町村の内、住民税では51団体、固定資産税では55団体、

軽自動車税では60団体、国保税では42団体が導入している。

県内では焼津市が平成26年度課税分から導入しているが、1%前後の利用率で、2～3年経過しないと効果が判断できないものと思う。

県内では平成27年度までに35市町中25市町でコンビニ納付を導入予定と聞いている。

こうした状況から森町としては、まず、コンビニ納付を検討すべきだと考えている。

YAHOO! 公金支払い JAPAN

- ◆自動車税……………17団体
- ◆住民税……………51団体
- ◆固定資産税……………55団体
- ◆軽自動車税……………60団体
- ◆国保税……………42団体
- ◆ふるさと納税……………408団体

インターネット決済の普及状況



西田 彰

第8次森町総合計画を問う

問 第8次森町総合計画も最終年度を迎えるが、計画の達成率は何%か。町長の任期もあと1年となったが、国や県に頼らず、他の市町村にない独自の施策、事業が少ないと思うがどうか。

町長 計画の主要事業として175事業に取り組み、4事業が残った。うち、男女共同参画推進計画事業は今年度着手するので、残りは3事業となる。



天方城跡 展望台

計画推進に当たっては、国・県の補助金と合致するものはそれを活用し、しなければ町単独で推進してきた。子育てのしやすい環境を整備するための事業も、国の制度変更に合わせて、他の市町村に先駆けて取り入れ、事業化している。

天方城跡に人を呼ぶためには

問 天方城跡公園に人を呼び込む具休策はあるか。

町長 オフシーズンとなると難しい。文化財という位置づけもあり、ハード面での開発は難しいが、合併60周年記念事業の記念植樹事業に、提案を頂いた天方城跡も入れながら、色も濃く、咲く時期の長い河津桜が植えられるか、担当課に検討させたい。

町政を問う ～一般質問～



片岡 健

次期町長選の進退は

問 28年2月に予定されている町長選について、現在自らの進退をどのように考えているか伺う。

町長 5期目出馬の際に掲げた自分の役割は果たしつつあると考えており、次期町長選挙への出馬は考えていない。

もちろん、任期いっぱいまではこれまで以上にマニフェスト及び総合計画の総仕上げ、そして合併60周年記念事業や、森町版総合戦略の策定等の地方創生の取組に精一杯努力していきたい。

三倉・天方地域の町道整備を

問 森町でも特に中山間地域である三倉・天方地域での人口減少に歯止めがかかっていない。一番の課題であり、特に要望の多い町道の整備について、どのように考えているか伺う。

町長 町道については、地区を限定して取り組むことができる辺地債を利用し、継続的に整備を行ってきている。

中山間地域の道路整備は、町として今後もしっかりと進めていくべき事業であると認識している。辺地債の次期計画については、平成27年度から準備に入りたいと思っているので、この辺地債を有効に活用するためにも、地元として要望し手を挙げてもらえば、町としても積極的に応援していく。



三倉地区 町道木根線

みんなのこえ

若い仲間を募集します！

災害ボランティア森町

東日本大震災から4年が過ぎました。現地に行つて、その被災の爪痕に心が痛みます。

今後予想される巨大地震に、森町だけが無傷でいられるとは思えませんが、その時に応援ボランティアと被災住民の要望を結びつけ、効果的な支援活動を受けられるように、毎月定例会を重ね、結成8年となりました。

毎年、東日本被災地応援のため、森町産業祭で被災地の物品販売や募金



活動をしています。

年に一度は他市町の防災施設見学を行うなど、会員同士も楽しく活動をしています。

町や社協からもご支援を頂き、感謝しています。

会員も年ごとに高年齢になっており、いざという時に役立つよう、是非若い皆さんに参加してほしいと思います。

代表 岡田 隆男
副代表 中村 繁治

議会を聴きにきませんか

前回の議会では、のべ12人の方が、議会へ足を運んでくださいました。めんどろな手続きは必要ありません。是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

<6月定例会の予定>

6月12日(金) 本会議 初日
 6月15日(月) 常任委員会
 6月16日(火) 本会議 2日目
 6月23日(火) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
 ※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

議会報告会を開催します!!

町民の皆さまに、町議会をより身近に感じていただけるよう、下記のとおり議会報告会を開催します。

どなたでも参加できますので、ご都合の良い会場までお出かけください。(申込みは必要ありません)

	開催日	時間	会場
園田	5月17日(日)	19:30~	園田総合センター
三倉	5月23日(土)	19:30~	三倉総合センター
天方	5月30日(土)	19:30~	天方生活改善センター
飯田	6月 3日(水)	19:30~	飯田総合センター
森	6月 5日(金)	19:30~	森町町民生活センター 2F
一宮	6月 6日(土)	19:30~	一宮総合センター

ひとこと

4月は新年度の始まりで、節目の一つである。1月とはちよつと違った、新たな気持ちが出てくる。節目といえは、今年には戦後70年、森町も合併60周年という節目の年であり、人によっては還暦となる。

町も記念式典や、町民が参加する記念行事・イベントなどを計画している。森町を振り返り、見つけ直す良い機会である。

最近、「地方創生」という言葉をあちこちで耳にする。地方の一つである森町の「ひとりひとり」が、それぞれ「しごと」に前を向き、「まち」を元気にする。そして、新たな森町の歴史を作っていく、そんな年になる。

T・おとむ

議会だよりは年4回発行

議会だより編集委員会

議長 神原淑友
 委員長 片岡 健
 副委員長 中根幸男
 委員 吉筋恵治
 委員 小澤哲夫
 委員 伊藤和子

もりまち議会だより第62号 平成27年(2015年)5月15日発行

発行 静岡県森町議会 編集 議会だより編集委員会

T437-0293 静岡県周智郡森町森2101-1 TEL 0538-85-6329 FAX 0538-85-6044 http://www.town.morimachi.shizuoka.jp E-mail: gikai@town.morimachi.shizuoka.jp